

2023年2月8日

(全3枚)

京都大学記者クラブ加盟社 各位

大分県政記者室加盟社 各位

別府市役所市政記者クラブ加盟社 各位

立命館大学

立命館アジア太平洋大学

2023年度一般選抜入学試験における出題ミスについて

標記につきまして、2023年2月2日（木）に実施いたしました、立命館大学、および立命館アジア太平洋大学の一般選抜入学試験、「選択科目」の「日本史」におきまして、出題ミスがありました。

内容および対応について、以下の通りお知らせいたしますとともに、受験生ならびに関係者各位に深くお詫び申し上げます。

記

1. 試験日 2023年2月2日（木）
2. 対象入試方式
 - ・立命館大学 全学統一方式（文系）
 - ・立命館アジア太平洋大学 前期方式 [スタンダード3教科型]
3. 対象学部
 - ・立命館大学
法学部法学科、産業社会学部現代社会学科、国際関係学部国際関係学科、
文学部人文学科、映像学部映像学科、経営学部国際経営学科、
経営学部経営学科、政策科学部政策科学科、総合心理学部総合心理学科、
経済学部経済学科、スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科、
食マネジメント学部食マネジメント学科
 - ・立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋学部、国際経営学部、サステイナビリティ観光学部
4. 合格発表日 2023年2月17日（金）
5. 内容および対応
 - 科目名 : 選択科目「日本史」
 - 科目配点 : 100点
 - 受験者数 : 2,153名（「日本史」受験者数）
 - 該当箇所 : 大問Ⅲ [2] の問題文の8行目の用語に誤記がありました。問題文には「戌辰詔書」と記載されていますが、正しくは「戌申詔書」を用いるべきでした。 別紙 ご参照
 - 対 応 : 設問 H について全員正解（100点満点中2点）として扱います。

6. 原因と判明経緯

問題作成・校正時の点検が不十分であったことによるものです。試験実施後に外部からの指摘により誤記が判明しました。

7. 受験生への周知方法について

立命館大学入試情報サイトの「お知らせ」及び立命館大学アジア太平洋大学受験生サイト APUmate の「NEWS」に掲載いたします。

8. 再発防止対策および大学のコメント

今回の出題ミスについて、受験生、ならびに関係者各位に深くお詫び申し上げます。本学では、入学試験問題の作成にあたり、各科目における二重、三重の点検を行う組織的な体制をとってまいりました。しかしながら、今回このような点検体制が十分に機能しなかったことから、今一度、点検体制のあり方および人材確保について見直して再発防止策を検討し、具体化してまいります。

以 上

【本件お問い合わせ先】

立命館大学広報課(担当：池田・名和)

電話：075-813-8300

別紙資料

〔2〕 明治後期の国政は、立憲政友会を基盤とする西園寺公望と陸軍・官僚閥を基盤とする桂太郎が交互に政権を担当したことから「桂園時代」と称された。

1901年に誕生した第一次桂太郎内閣は日露戦争を遂行する重要な役割を果たしたが、戦後ポーツマス条約に反対する人々の起こした〔F〕事件により総辞職した。次に誕生した第一次西園寺公望内閣は、鉄道国有法を成立させるなどして日露戦後の長期不況に積極的に対処したが、財源の枯渇に苦しみ、

〔G〕事件を契機として総辞職し、桂太郎に後を譲った。この第二次桂太郎内閣も財政の再建に悩まされ、〔H〕年に戊辰詔書^①を発して国民に勤儉を説き、また地方行政を司る〔I〕省を中心に地方改良運動を展開した。次に誕生した第二次西園寺公望内閣もまた財政運営に苦慮し、徹底した緊縮財政により乗り切ろうと努力したのであるが、陸軍が提出した2個師団増設案を否定したことから陸軍と対立し、〔J〕陸相の単独辞任により総辞職せざるを得なくなった。

これにより桂太郎がついに三度目の組閣を行うこととなったが、〔K〕に就任していた桂が組閣するのは「宮中・府中の別」を乱すものとして批判を浴び、国民的な割閣運動により崩壊に追いやられた。^②

その後を受けて誕生した第一次〔L〕内閣は、〔E〕を緩和して政党内閣の上級官僚への道を開くなどして、政党勢力との対立緩和に努めた。こうして時代は次第に本格的な政党政治へと移行していくことになる。

(f) 下線部⑥に関連して、この長期不況に対処するため財閥は企業集中を進めて巨大化していった。当時四大財閥と呼ばれた財閥として適切でないものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ⑤ 安田財閥 ⑥ 古河財閥 ⑦ 三井財閥 ⑧ 住友財閥

(g) 下線部⑦に関連して、この内閣で大蔵大臣となり、緊縮財政を推進した人物は誰か。もっとも適切なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- ⑤ 松方正義 ⑥ 高橋是清 ⑦ 井上準之助 ⑧ 山本達雄

(h) 下線部⑧に関連して、この運動に対抗するために桂太郎が組織しようとした政党の名を答えよ。